

令和5年度 第1回宜野湾市総合教育会議 議事録

1. 開催日時

令和5年12月27日(水) 9時30分～10時20分

2. 開催場所

宜野湾市上下水道局庁舎2階 第2・第3会議室

3. 出席者

(1) 構成員

宜野湾市長 松川 正則

宜野湾市教育委員会 教育長 仲村 宗男

宜野湾市教育委員会 教育長職務代理者 仲村 和也

宜野湾市教育委員会 委員 下地 美幸

宜野湾市教育委員会 委員 親川 利恵

宜野湾市教育委員会 委員 大川 実

(2) 構成員以外の出席者

【市長部局】【教育委員会】

副市長 和田 敬悟 教育部長 崎間 賢 指導部長 佐伯 進

指導部次長兼学務課長 松本 勝利 市民経済部次長兼生活安全課長 新垣 育子

指導課長 新川 健次 生涯学習課長 佐久原 昇 観光スポーツ課長 外間 理子

【事務局】

企画部長 坂場 純平 企画部次長兼企画政策課長 伊佐 真

企画政策担当主幹兼企画政策係長 小橋川 陽介

【司会】

企画政策担当主幹兼企画政策係長 小橋川 陽介

4. 傍聴人

0名

5. 会議資料

- ・令和5年度第1回宜野湾市総合教育会議 次第
- ・資料1 総合教育会議について
- ・資料2-1 宜野湾市総合教育会議運営要綱
- ・資料2-2 宜野湾市総合教育会議傍聴要領
- ・資料3 宜野湾市の過去の議題一覧
- ・資料4 中学校部活動の地域移行について(宜野湾市教育委員会)

6. 会議の概要

【司 会】

これより令和5年度 第1回宜野湾市総合教育会議を開催いたします。

私は、会議の司会を務めさせていただきます企画部企画政策課の小橋川と申します。どうぞよろしくお願いたします。

それでは、会議を進めてまいります。

本会議につきましては、本日配布しております資料2-1の「宜野湾市総合教育会議運営要綱」第3条第2項の規定により原則公開となります。本日は、傍聴の方がいらっしゃいませんので、そのまま進めてまいります。

それでは、次第第1にありますとおり、会議の主宰者であります、松川市長よりご挨拶がございます。松川市長、よろしくお願致します。

【松川正則 市長挨拶】

【仲村宗男 教育長挨拶】

【仲村和也 教育長職務代理者挨拶】

【下地美幸 教育委員挨拶】

【親川利恵 教育委員挨拶】

【大川実 教育委員挨拶】

【司 会】

皆様、ありがとうございました。それでは、これより議事に入らせていただきます。

本日配布しました資料2-1の宜野湾市総合教育会議運営要綱第3条第3項の規定により、進行につきましては市長が行うこととなっておりますので、松川市長に進行をお願いしたいと思います。

【松川正則 市長】

それでは、会議を進めてまいります。よろしくお願いたします。

最初に、本日の会議の出席者数及び成立の状況について、事務局より報告をお願いします。

【事務局】

本日の出席者は、松川市長、仲村教育長、仲村委員、下地委員、親川委員、大川委員がご出席であり、本会議における構成員全員がご出席となっておりますので、宜野湾市総合教育会議運営要綱第3条第1項により、会議が成立することをご報告致します。

【松川正則 市長】

会議も成立ということですが、本会議は令和3年度以来の開催となり、構成員となる教育委員の皆様にも異動等がございましたので、総合教育会議の概要について、事務局より改めて説明をお願いします。

【事務局】

事務局より、総合教育会議の概要について説明

【松川正則 市長】

説明ありがとうございます。それでは本日の協議事項となります「中学校部活動の地域移行について」を協議してまいりたいと思います。

まず、本件について、事務局から協議事項の内容説明をお願いします。

【事務局】

事務局より、中学校部活動の地域移行について説明

【松川正則 市長】

説明ありがとうございます。本件について、ご意見、ご提言を賜りたいと思います。

【仲村和也 教育委員】

○地域移行後の大会出場等について

中学校部活動の地域移行後の中体連大会の出場資格は、これまで確か学校単位での出場であったと理解しております。地域移行後は、移行期間で地域の進捗状況で学校部活動であったり、クラブチームで活動したりと、登録状況が複数存在すると大会出場が気になります。

地域移行後のクラブチーム出場については、中体連の大会に出場することは可能なのでしょうか。

【事務局】

仲村委員から確認があるように、子どもたちは中体連大会などの出場を目指して、毎日それぞれの部活動で日々頑張っております。

子どもたちが継続的にスポーツ活動へ参加できることを目的として、今回の取組が令和5年度から令和7年度まで改革推進期間として取り組まれております。

各種競技団体においても、この動きに呼応する形でクラブチームの参加を認める競技団体が拡大しております。令和6年度より中体連主催の大会においても、このような状況を踏まえて、拡充する方向であると確認しております。

【下地美幸 教育委員】

○子どもたちの希望・意向について

只今の事務局の説明を踏まえて、全国での人口減少や宜野湾市は生徒数の減少はないが、部活動参加率が減少傾向にあるということは理解しました。

また、特に球技系の運動部活動の生徒数が減少しており、本市の中学校においても、宜野湾中と真志喜中のソフトボール部が合同チームで編成されており、全国の状況が対岸の火事ではないとも感じました。

しかし、部活動の地域移行はこれまでの学校部活動と異なる活動形態が見込まれ、それに対して子ども達がどのように感じているのか。更には、活動拠点が学校だけでなくこと等により、送迎の負担が増えることも想定されることから、保護者の方々もどう感じているのか。事務局でそのあたりの確認をしているのかを伺います。

【事務局】

宜野湾市の将来人口の推移においては、先程、説明もしておりますが令和4年度版宜野湾市統計書にて、令和8年度をピークに減少が見込まれております。本市においては西普天間住宅地区の区画整理事業など、人口の伸びしろを有しておりますが、全体の県人口は復帰後初の減少にあったと報じられておりました。

市教委としても、それらに対応するため、中学校部活動の地域移行に関しましては、令和4年度の先進地視察を含め、着手しております。

下地委員から確認のある「子ども達や保護者への意向確認」などにおいても、令和6年度に中学校運動部活動の地域移行のノウハウを持つ事業者に委託し、子ども達や保護者の意向確認や部活動の活動状況なども調査のうえ、しっかり確認して参りたいと考えております。

【親川利恵 教育委員】

○中学校部活動の地域移行後の気になる点について

これまで、私自身がバドミントンの競技経験もあり、嘉数中学校の部活動保護者や外部コーチとして関わってきました。

現在の部活動は顧問の先生が活動時間に関与しないと、安全確認の面もあると思いますが、学校体育館の使用時の開閉ができません。

部活動地域移行で、地域でその活動がなされますと、活動場所の確保などはどうなりますでしょうか。また、活動中のケガなどがあった場合、保険や保護者への連絡体制はどのようになるのでしょうか。

【事務局】

親川委員におかれましては、嘉数中学校バドミントン部の外部コーチをお引き受け頂き、ありがとうございます。

中学校部活動の地域移行に関しましては、国の方で令和4年度に「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を策定しております。それを踏まえ、令和5年度から令和7年度を改革推進期間と位置づけ、地域の実情等に合わせ、可能な限り早期の実現を目指すこととされたことから、宜野湾市教育委員会として取り組んでおります。

地域移行に関しましては、委員ご指摘の活動場所以外にも、指導者の確保や費用負担など、様々な課題もありますので、令和6年度においては、その現状課題の把握に努め、関係者の会議体などを通して、今後の方向性を確認して進めて参りたいと考えております。

【親川利恵 教育委員】

○指導者の確保について

先ほど発言したとおり、これまで嘉数中学校のバドミントン部に関わってきました。私の子どもが在学中は、保護者や外部コーチとして関わってきましたが、子どもの卒業後は、活動の場が高校へと移り、なかなか嘉数中学校に関わる事が出来ていません。

顧問も競技経験がない中で苦慮され、そのフォローで保護者等の外部コーチが入ったりしており、指導者の確保を苦慮している現状もありますが、地域移行でどのような形で指導者を確保されるのでしょうか。

【事務局】

先ほど部活動の状況などをご説明致しましたが、全国的な状況として人口減少に伴う生徒数の減少、また、多様な活動もあることから部活動の参加率は更に減少しております。

宜野湾市の状況としては、令和元年度と令和5年度を比較して生徒数の減少は小さいものの、部活動の参加率は全国と同様に減少しております。また、部活動の競技を経験したことのない教員が顧問を務めることも増えるなど、現行でも指導者の確保には苦慮しているところであります。

宜野湾市教育委員会としても令和4年度から部活動指導員を各中学校に1名配置しておりますが、ここでも全校で埋まらない状況であります。

部活動の地域移行を検討する中、関係団体などとも会議体を通して情報交換を行い、指導者の確保など協議して参りたいと考えております。

【大川実 教育委員】

○指導者に関する報酬有償化及び保護者負担について

中学校部活動の地域移行の背景や国・県の動きは今日の説明で流れは承知しました。また、それらを踏まえて、取組過程であることも理解しました。自分自身、教員経験や子どもたちにバレーボール指導した経験を踏まえて、確認したい事項があります。

指導者に対して、外部コーチなどでボランティア指導するケースをよく見ますが、ボランティアでは責任の所在が不明瞭になるなど、実際に自分の時間を割いて活動しておりますので、有償にすべきと思います。また、地域活動がクラブチームになるとこれまでと異なり、参加費、活動費として、保護者負担がこれまでより負担になることが見込まれるが、負担を軽減すること等は検討されていいますか。

【事務局】

これまでも各委員のご質問もあるように、今後、部活動の地域移行を進めるにあたり、様々な課題があります。

これまでの部活動は、学校活動の一環として部活動顧問の教員が自身の業務の範囲で行っており、その活動費に関しては、保護者の負担は少額でありました。指導者に対する報酬においては、部活動指導員や地域クラブの指導者として生じるものと考えられます。現行課題は承知しておりますが、今後の地域移行がどのような形態になるかも今後、検討しなければならないと考えております。

また、保護者負担においても発生するものと考えております。厳しい家庭においては、就学援助制度がありますが、現時点では部活動に関する助成はありません。今後、国・県の動向や他市町村の状況も調査しながら状況把握に努めてまいります。

【松川正則 市長】

他に質疑はございませんでしょうか。

本日は様々な課題をあげていただきましたが、どのように解決していくかについては、今後の専門の委託事業者の調査や、子どもの意向調査、保護者の意向調査を行った上で、方向性を出していくということになるかと思えます。本日はスタートという形で、教育委員の皆様にもご理解いただければと思います。市長部局も教育委員会もあらためて課題を認識して、今後、一緒になって取り組んでいくということで理解をしていただきたいと思います。

【仲村宗男 教育長】

今回、総合教育会議の場を設けていただき、ありがとうございます。教育委員の皆様の率直なご質問に対して事務局からの回答もありましたが、課題はたくさんあると思います。現在、部費がおよそ年間5千円というのに対して、クラブチームに行くと月1万円となることもあり、かなりの負担が保護者に生じるようになってくる状況がございます。それを行政がどうしていくかということが今後の課題になってくると思います。更には、教職員の課題もあり、子どもの課題もあり、様々な課題が多くありますが、それらを、ぎのわん方式で解決していかなければなりません。ぎのわん方式の一つとして、つくば市の方式を参考にしたいと考えております。琉球大学や沖縄国際大学、キリスト教短期大学の学生達を外部講師として、招きたいというのが私の夢でございます。あとは、地域との連携で横浜 DeNA ベイスターズや琉球ゴールデンキングス等の企業もありますので、そのようなところとの連携を模索していきたいと思っております。

本市にとって、本日は歴史に残るスタートが切れたと思っております。教育委員会としては、次年度に実行委員会を立ち上げる予定でございます。組織を確立するとともに、説明会を開催し、中学校部活動の地域移行の趣旨と意義を市民の皆様になんげつ理解していただけるよう、裾野をひろげてまいりたいと思っております。

本日は、ご参加いただき、ありがとうございました。

【松川正則 市長】

教育長より、課題の解決に向けて進めていくことも示していただきました。私としましても、先ほど申しましたとおり、待ったなしということで理解しております。

うるま市が先進地ということでございますが、どのように進めてこられたか等、整理して提示していただきたい。外部コーチもボランティアでやっけていただいている方がほとんどという状況ですが、今後は報酬も発生していくと思われます。今後、地域のクラブチームでやっけていく場合の支援のありかたなど、予算面もどのように対応していくのか先進地を確認し報告もいただき、ぎのわん方式に取り組んでいただきたいと思っております。

一番は、スポーツだけに限らず文化部も含めて伸ばしていくにはどういった手法がいいのか等、子ども達のために考えていただきたい。保護者の負担もありますし、その部分はどうに取り組んでいくのか、教育委員会と市長部局が連携して課題解決ができるように、しっかり取り組んでもらいたいと思っております。

それでは、本日の議題については、全て終了しましたので、会の進行を事務局へお返しします。

【事務局】

本日は、中学校部活動の地域移行について市長及び教育委員の皆様活発な意見交換がございました。

本会議における議事録や資料等につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第7項により、公表を行ってまいります。公表は、ホームページ上で行いたいと考えておりますので、ご了承いただきたいと存じます。

(10:20 終了)

本会議録に相違ないことを確認し署名する。

市長 松川正則

教育長 仲村宗男